

バージョン 1.0

発刊日 2022年8月10日

初刊発行日 2022年8月10日

JIS Z 7253: 2019に準拠する:

JIS Z 7253: 2019は、有害物質および混合物/配合物に対してのみSDSを要求しています。Secondary coated fibres 製品は非危険物であると定義されています。安全情報シートは、可能な限り参考になるようにJIS Z 7253: 2019の規則に準拠して作成されています。

セクション 1: 化学品及び会社情報

ラベルに使用される製品の識別子

製品名

Secondary coated fibres

別名

Roxul®1000, Rockbrake®, Rockseal®, Rockforce®, CoatForce®, Lapinus®, RIF41001, RIF48003, ROCKWOOL®

化学品の推奨用途と使用上の制限

推奨用途

複合材料における添加剤

使用上の制限

上記以外の使用

安全データシート供給者の詳細

供給者の詳細

ROCKWOOL B.V

供給者の住所

Delfstoffenweg 2
6045 JG Roermond
オランダ

P.O. Box 1160
6040 KD Roermond
オランダ

電話

+31 475 353 555

Eメール(担当者)

ra@lapinus.com

緊急電話番号

緊急連絡用電話番号

+31 475 353 555

月曜日から金曜日、09:00 – 17:00 (GMT)

話される言語

英語

セクション 2: 危険有害性の識別

危険有害性の概要

製品の取り扱い:

白色/ 黒色の 固体繊維。可燃性はありません。この物質を取り扱うと、ほこりを発生させ、目、皮膚の鼻、喉に機械的刺激を与えることがあります。

吸入した場合: 呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。水をたくさん飲ませること。

皮膚(または髪)に付着した場合: 十分な水で洗い流すこと。刺激(発赤、発疹、水疱)があらわれた場合、医師の手当てを受けること。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が進んだ場合、医師の治療を受けること。刺激が生じた場合は、こすったり搔いたりせず、流水で十分に洗い流した後、水でよく洗い流すこと。

バージョン 1.0

発刊日 2022年8月10日

初刊発行日 2022年8月10日

JIS Z 7253: 2019に準拠する:

JIS Z 7253: 2019は、有害物質および混合物/配合物に対してのみSDSを要求しています。Secondary coated fibres 製品は非危険物であると定義されています。安全情報シートは、可能な限り参考になるようにJIS Z 7253: 2019の規則に準拠して作成されています。

飲み込んだ場合：嘔吐を引き起こさないようにし、水で口をすすぐこと。症状が出た場合は、医師の診察を受けること。

物質又は混合物の分類

JIS Z 7252: 2019 に準拠する：

物理的な危険性 分類されていない。
 健康に対する有害性 分類されていない。
 環境に対する有害性 分類されていない。

ラベル要素

危険性を表す絵文字 割り当てられていない。

注意喚起語 割り当てられていない。

危険有害性情報 割り当てられていない。

注意書き

予防 割り当てられていない。

応答 割り当てられていない。

保管 割り当てられていない。

廃棄 割り当てられていない。

他の危険有害性

この物質を取り扱っていると、ほこりを発生させ、目、皮膚、鼻、喉に機械的刺激を与えることがあります。

セクション 3：組成/成分の情報

物質 - 該当なし。

混合物

GHS 分類 JIS Z 7252: 2019

物質の化学的特定名	%W/W	CAS 番号	化審法の 官報公示番号	危険有害性分類
Man-made vitreous (silicate) fibres (MMVF) with random orientation with alkaline oxide and alkali earth oxide (Na ₂ O+K ₂ O+CaO+MgO+BaO) content greater than 18 % by weight]	92 -100	65997-17-3*	--	分類されていない - Note Q に基づく (EU (欧州連合))

当製品の分類に影響を与えるであろう他の成分または不純物はありません。

バージョン 1.0

発刊日 2022年8月10日

初刊発行日 2022年8月10日

JIS Z 7253: 2019に準拠する:

JIS Z 7253: 2019は、有害物質および混合物/配合物に対してのみSDSを要求しています。Secondary coated fibres 製品は非危険物であると定義されています。安全情報シートは、可能な限り参考になるようにJIS Z 7253: 2019の規則に準拠して作成されています。

*汎用 CAS 番号 65997-17-3、特定 CAS 番号 287922-11-6、特定 CAS 番号 1010446-98-6。詳細はセクション 16 を参照してください。

^セクション 11 を参照してください。

この製品には結晶性シリカが含まれていません。

セクション 4: 応急処置



応急処置の説明

吸入

吸入した場合：呼吸が困難な場合には、被災者を新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。水をたくさん飲ませること。

皮膚接触

皮膚（または髪）に付着した場合：十分な水で洗い流すこと。刺激（発赤、発疹、水疱）があらわれた場合、医師の手当てを受けること。

目の接触

目に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が進んだ場合、医師の治療を受けること。刺激が生じた場合は、こすったり搔いたりせず、流水で十分に洗い流した後、水でよく洗い流すこと。

摂取

飲みこんだ場合：嘔吐を引き起こさないようにし、水で口をすすぐこと。症状が出た場合は、医師の診察を受けること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

この物質を取り扱っていると、ほこりを発生させ、目、皮膚、鼻、喉に機械的刺激を起こす恐れがあります。

医師の手当てと特別な処置が直ちに必要状態

症状によって処置する。

セクション 5: 火災時の対策

消火剤

適切な消火剤

非可燃性。支燃性はありません。可燃性 / 引火性はありません。火災の際は、周りの環境に適した消火媒体を使用してください。泡消火剤、スプリンクラーまたは霧状消火剤。

不適切な消火剤

ウォータージェットを使用しない。直接水を噴射すると、火災が広がる恐れがあります。

Error! No document variable supplied.

確認されていない

Error! No document variable supplied.

消火作業員は自給式呼吸器を含む完全な保護服を着用すること。フュームを吸入してはならないこと。火災の場合、容器に水を噴霧して冷却すること。

バージョン 1.0

発刊日 2022年8月10日

初刊発行日 2022年8月10日

JIS Z 7253: 2019に準拠する:

JIS Z 7253: 2019は、有害物質および混合物/配合物に対してのみSDSを要求しています。Secondary coated fibres 製品は非危険物であると定義されています。安全情報シートは、可能な限り参考になるようにJIS Z 7253: 2019の規則に準拠して作成されています。

セクション 6: 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

適切な保護衣を着用すること。この物質を取り扱うと、ほこりを発生させ、目、皮膚、鼻、喉に機械的刺激を起こす恐れがあります。適切な換気を確保すること。皮膚、眼および衣服との接触を避けること。粉塵の吸入を避けること。汚染された衣類を脱ぐこと。また、再使用する場合には、事前に洗濯すること。換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項

環境中への放出を避けること。排水路、下水道または水路に入らないようにすること。

封じ込めと浄化の方法および資材

安全に対処できるならば漏洩をとめること。可能な限り、吸引装置を用いて漏洩物を回収すること。発塵を避けるために湿らせてください。廃棄用またはリサイクル用のふたの付いた容器に移すこと。粉じんの発生を避けること。室内が十分換気されていれば呼吸用保護具は必要ない。

セクション 7: 取扱いおよび保管上の注意

安全取り扱い注意事項

作業員は被曝を最小限にするように訓練されていることを確認すること。適切な換気を確保すること。粉塵の吸入を避けること。皮膚、眼および衣服との接触を避けること。取扱い後はよく手を洗うこと。流出物を取り除く間、適切な保護具を着用すること。適切な衛生管理方法および雑務実施方法を取ること。高い産業衛生水準を維持すること。作業場所では飲食、喫煙を行なってはならないこと。

安全な保管条件 (不適合条件を含む)

元の容器/包装に入れた状態で換気の良い冷所で保存すること。食品、飲料、動物の飼料から遠ざけること。容器を密封して保管すること。

保管温度

室温で貯蔵すること。

混触危険物質

湿気との接触を避けてください。湿度が高いところから離して保管すること。

セクション 8: 曝露防止及び保護措置

繊維/粉塵への職業上の曝露限界値

加盟国のガイドラインと法律を参照

職場曝露限界 (WEL) を超えてはいけない (呼吸可能な総量、8時間加重平均)。吸入可能な繊維の空気濃度は、通常の作業条件下で 0.5/cm³ 未満となる。

物質の化学的特定名	CAS 番号	mppcf	LTEL (8 hr TWA ppm)	LTEL (8 hr TWA mg/m ³)	Note
Graphite (天然) 黒鉛	7782-42-5	-	-	2 (いいえ 繊維)	ACGIH

源泉、出典:

バージョン 1.0

発刊日 2022年8月10日

初刊発行日 2022年8月10日

JIS Z 7253: 2019に準拠する:

JIS Z 7253: 2019は、有害物質および混合物/配合物に対してのみSDSを要求しています。Secondary coated fibres 製品は非危険物であると定義されています。安全情報シートは、可能な限り参考になるようにJIS Z 7253: 2019の規則に準拠して作成されています。

ACGIH TLV 2021

物質の化学的特定名	CAS 番号	OEL (mg/m ³)		ノート
		吸入性粉塵	総ダスト	
Graphite 総ダスト 黒鉛	7782-42-5	50	90	JSOH

源泉、出典:

職業暴露限界の勧告 (2021年~2022年)、J Occup Health 2021年; 3

生物学的曝露指数

確立されていない。

適切な工学的管理

適切な換気を確保すること。熱源や着火源から離れた、涼しく低温の、風通しの良い(乾燥した)場所に保管すること。

個人用保護具(PPE)などの個人保護措置

高い産業衛生水準を維持すること。適切な個人用保護具を着用し、直接接触しないようにすること。皮膚、眼および衣類に触れないようにすること。作業場所では飲食、喫煙を行なってはならないこと。

目/顔面の保護



液体飛沫から保護するように設計された EN 166 に準拠した眼の保護具を使用すること。

皮膚の保護



EN374に準拠して許容される透過試験による頻繁な作業や長期間の作業に適した耐薬品性保護手袋を着用すること。汚染された手袋は、再使用する前に慎重に水ですすいでください。

呼吸器の保護



室内が十分換気されていれば呼吸用保護具は必要ない。換気が不十分な場合は、呼吸用保護具を着用すること。

特定の条件に起因する危険性に対する特別な注意事項

予期されていない。

セクション 9: 物理的および化学的性質

基本的な物理化学的特性についての情報

外観

固体 白色/ 黒色 繊維

臭い

設定されていない。

臭いの閾値

設定されていない。

バージョン 1.0

発刊日 2022年8月10日

初刊発行日 2022年8月10日

JIS Z 7253: 2019に準拠する:

JIS Z 7253: 2019は、有害物質および混合物/配合物に対してのみSDSを要求しています。Secondary coated fibres 製品は非危険物であると定義されています。安全情報シートは、可能な限り参考になるようにJIS Z 7253: 2019の規則に準拠して作成されています。

pH (値)	設定されていない。
融点/凝固点	> 1000 °C
初留点と沸騰範囲	設定されていない。
引火点	該当なし。
蒸発速度	設定されていない。
燃焼性 (固体、ガス)	可燃性 / 引火性はありません。
上限/下限可燃性または爆発限界	設定されていない。
蒸気圧	設定されていない。
蒸気密度	設定されていない。
Error! No document variable supplied.	2.6 – 2.7 g/cm ³
溶解度	水に不溶。
分配係数: n-オクタノール/水	設定されていない。
自然発火温度	設定されていない。
分解温度	設定されていない。
粘度	該当なし。
爆発性	非爆発性。
酸化性	非酸化性。

セクション 10: 安定性および反応性

反応性	通常の条件下で安定している。
化学的安定性	通常の条件下で安定している。
危険な反応可能性	通常の条件下で安定している。有害な重合反応は起こらない。
避けるべき条件	酸およびアルカリに近づけないこと。湿度が高いところから離すこと。
混触危険物質	確認されていない
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、二酸化炭素。

セクション 11: 有害性情報

毒性影響に関する情報

急性毒性 - 経口	混合物: これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 混合物の急性毒性推定値: LD50 >2000 mg/kg bw
急性毒性 - 経皮	混合物: これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 混合物の急性毒性推定値: LD50 >2000 mg/kg bw
急性毒性 - 吸入	混合物: これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 混合物の急性毒性推定値: LC50 >5 mg/l 塵/ミスト)

バージョン 1.0

発刊日 2022年8月10日

初刊発行日 2022年8月10日

JIS Z 7253: 2019に準拠する:

JIS Z 7253: 2019は、有害物質および混合物/配合物に対してのみSDSを要求しています。Secondary coated fibres 製品は非危険物であると定義されています。安全情報シートは、可能な限り参考になるようにJIS Z 7253: 2019の規則に準拠して作成されています。

皮膚腐食性/刺激性

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

呼吸器感受性又は皮膚感受性

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

生殖細胞変異原性

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

発癌性

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

IARC :グループ3。 作因は、ヒトに対する発癌性については分類できない (ヒトでの不適切な証拠、実験動物での限られた証拠)。

E U規制: "Note Q"

データは、物質が以下の条件のうちの 1 つを満たすことが示されることができ
るならば、発癌物質としての分類が適用される必要がないことを示します :

- 吸入による短期の生体溶解試験は、20µmより長い繊維が10日未満の加重半減期を有することを示した。または
- 気管内点滴注入による短期の生体溶解性試験は、20µmより長い繊維が40日未満の加重半減期を有することを示した。または
- 適切な腹腔内試験では、過度の発がん性の証拠は示されていない。または
- 適切な長期吸入試験において、関連する毒性または新生物性の変化はない。

生殖毒性

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

特定標的臓器への毒性 (単回曝露)

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

特定標的臓器への毒性 (反復曝露)

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

その他の指示

確認されていない

セクション 12: 環境影響情報

毒性

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

残留性および分解性

容易には生分解されない。

生物蓄積性

低生体蓄積性。

土壌中の移動性

製品は土壌中で移動性が低いと予想される。水に不溶。

オゾン層に対する有害な影響

本物質はオゾン層破壊の可能性はない。

その他の悪影響

確認されていない

セクション 13: 廃棄上の注意

廃棄物処理方法

廃棄は、地方自治体、都道府県、または国の法律に従って行う必要がある。

バージョン 1.0

発刊日 2022年8月10日

初刊発行日 2022年8月10日

JIS Z 7253: 2019に準拠する:

JIS Z 7253: 2019は、有害物質および混合物/配合物に対してのみSDSを要求しています。Secondary coated fibres 製品は非危険物であると定義されています。安全情報シートは、可能な限り参考になるようにJIS Z 7253: 2019の規則に準拠して作成されています。

セクション 14: 輸送上の注意

危険物輸送に関する UN 勧告(the United Nations 'Recommendations on the Transport of Dangerous Goods')によれば、分類されていない。

	ADR/RID	IMDG	IATA/ICAO
国連番号	分類されていない。	分類されていない。	分類されていない。
国連に記載のある 適切な船積み名	分類されていない。	分類されていない。	分類されていない。
輸送危険性分類	分類されていない。	分類されていない。	分類されていない。
輸送危険性分類	分類されていない。	分類されていない。	分類されていない。
海洋汚染物質	分類されていない。	分類されていない。	分類されていない。
使用者に対する特別な注意事項	セクション 2 を参照してください。		
マルポール条約附属書 II 及び IBC コードによるばら積み貨物の輸送	分類されていない。	分類されていない。	分類されていない。

セクション 15: 適用法令

物質又は混合物に対する安全、保健及び環境に関する規定/法規

労働安全衛生法 (ISHA)

表示対象物質 (ラベル表示義務)	非該当、すべての化学物質が記載されているわけではない。
通知対象物質 (SDS 提供義務)	非該当、すべての化学物質が記載されているわけではない。
有機溶剤	非該当、すべての化学物質が記載されているわけではない。
作業環境測定基準で定める管理濃度	非該当、すべての化学物質が記載されているわけではない。
毒物及び劇物取締法	非該当、すべての化学物質が記載されているわけではない。
化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 (化審法)	非該当、すべての化学物質が記載されているわけではない。
優先評価化学物質	非該当、すべての化学物質が記載されているわけではない。
名称公表化学物質	非該当、すべての化学物質が記載されているわけではない。
化学物質排出把握管理促進法	非該当、すべての化学物質が記載されているわけではない。
消防法	非該当、すべての化学物質が記載されているわけではない。

セクション 16: その他の情報

以下の項には改訂または新しい内容が含まれている: V1.0 - 該当なし

参考文献:

既存の安全データシート (SDS)

バージョン 1.0

発刊日 2022年8月10日

初刊発行日 2022年8月10日

JIS Z 7253: 2019に準拠する:

JIS Z 7253: 2019は、有害物質および混合物/配合物に対してのみSDSを要求しています。Secondary coated fibres 製品は非危険物であると定義されています。安全情報シートは、可能な限り参考になるようにJIS Z 7253: 2019の規則に準拠して作成されています。

EU: ガラス、酸化物、化学物質に関する既存の ECHA 登録 (CAS 番号 65997-17-3)。

Note Q ファイバーが該当する CAS 番号は 65997-17-3 です。この番号のもとに、繊維は世界のほとんどの国に化学物質登録システムに登録されています。この CAS 番号は非常に広範囲に渡っています。生体溶解性繊維の特定の化学的性質は、CAS 番号 287922-11-6 および 1010446-98-6 に規定されており、CAS 登録システムによってのみ追跡することができます。

この安全データシートは、日本工業規格 JIS Z 7252 : 2019 および JIS Z 7253 : 2019 に従って編集されています。

注釈

ADR	ADR : 欧州危険物国際道路輸送協定
DNEL	無影響量
IATA	IATA : 国際航空運送協会
ICAO	ICAO : 国際民間航空機関
IMDG	IMDG : 国際海事危険物
LTEL	長期曝露限界
PBT	PBT : 難分解性、生物蓄積性、毒性
PNEC	予測無影響濃度
RID	RID: 欧州危険物国際鉄道輸送規則
STEL	短期曝露限界
vPvB	vPvB: 高難分解性、高生物蓄積性

研修アドバイス : 被爆の可能性により、より高度なレベルの予防が必要になる事がありますので作業手順を考慮する必要があります。

免責事項

記載の情報もしくは他の方法で提供された情報は最善の知見に基づき、誠意を持って提供しております。使用者は、これを参考として自らの責任において個々の取り扱い等の実態に応じ、適切な措置をお取り願います。Lapinus (Rockwool B.V.) はいかなる用途に対しても製品の適合性に関して保証するものではありません。法による場合を除き、暗黙の保証や条件 (法的なあるいはそうでない) はございません。Lapinus (Rockwool B.V.) は、この情報に起因する損失または損害の責任を負うものではありません (欠陥製品が原因で死亡もしくは負傷し、そのことが証明された場合を除く)。特許、著作権および意匠のもと自由な使用权があるということではありません。